

特集

「見える化」時代の 地域診断

データとツールを上手に 活用しよう



保健・医療・福祉・介護の「見える化」が進められている時代の中、保健師がデータヘルスや地域包括ケア等を進めるにあたって、各種の統計データや分析ツールを駆使した地域診断がますます重要になっている。

本特集では、データ分析による「見える化」の意義を知るとともに、どのように統計データや分析ツールを活用して戦略的に地域診断に取り組んでいくべきか、事例を交えながら考える。

- **なぜ、「見える化」が必要なのか**
地域診断におけるデータ分析の重要性
- **生活習慣病対策における健康課題把握のためのデータ活用**
- **【事例①】滋賀県国保連合会の取り組み**
国保データベース(KDB)システム等を活用した保険者支援
- **【事例②】瀬戸市のデータヘルス計画の取り組み**
個人の健康増進と制度維持の観点からKDBデータを分析
国保・衛生両部門の保健事業の再構築へ
- **【事例③】武豊町のデータヘルス計画の取り組み**
健康課題の優先度を見える化し、「裏づけある保健活動」を実現
- **【事例④】富山県砺波厚生センターの在宅医療・介護連携の取り組み**
地域包括ケア体制整備に向けて、さまざまな分析ツールを活用
- **地域診断に役立つウェブサイト一覧**